















































65-102.

水野直樹編(2001)『朝鮮總督諭告・訓示集成3』, 緑蔭書房, pp.219-220.

朝鮮副業奨励会編(1924)『朝鮮副業全書』, 朝鮮副業奨励会, pp.3-4.

朝鮮副業品共進会編(1924)『朝鮮副業品共進会事務報告』, 朝鮮副業品共進会, pp.1-70.

足立丈次郎編(1924)『朝鮮副業指針-朝鮮副業品共進会総覧』, 東光社, pp.1-70.

『경성일보』, 『매일신보』, 『동아일보』, 『조선일보』

『조선문 조선』, 『조선공론』, 『조선급만주』, 『조선』, 『개벽』

国際日本文化研究センター 『朝鮮写真絵はがきデータベース』 <https://kutsukake.nichibun.ac.jp/CHO/index.html?page=1> (검색일: 2025.8.5)

DOI : 10.18075/jcs..96.202510.363



いう帝国主義的な経済論理が仕掛けられていた。そのため朝鮮副業品共進会は、朝鮮人に懐疑と失望、さらに不満を抱かせる出来事だった。すなわち当時の朝鮮人は、朝鮮副業品共進会とそれに関わる言説の中心から排除された存在であっただけに植民地統治当局が宣伝した副業奨励の空虚さも大きく体感していたであろう。

**キーワード：**朝鮮副業品共進会、副業、植民政策、新聞・雑誌メディア、言説

<필자인적사항>

성명: 황익구

소속(직위): 동아대학교 국제대학 일본학과(조교수)

연락처(이메일): younrok@hanmail.net

투고마감일: 2025.7.30      심사개시일: 2025.8.15      게재확정일: 2025.9.15